

(特非) 環境の杜こうち

一般助成

2年目

知識の提供・普及啓発

高知県における 「暮らしの中の自然モノサシ市民調査」の 仕組みづくり



中津川地域でのワークショップ

モノサシ
キーワード 約3,000個

ホームページ
訪問者数 1,111人

活動の全体目標に
対する達成度 80%

課題

高知において暮らしの中で『自然の豊かさ』を実感するとともに、脆弱性を意識できるようになることを目的に、『自然の豊かさ』を実感するためのモノサシの手法開発を目指す。

活動内容

「地域の豊かさ」「自然の豊かさ」を新たな視点で見なおす機会として県内の地域の住民とそこに接点のある県内在住の皆様とワークショップを行った。また、「自然モノサシ」の候補となるモノゴト(キーワード)を抽出するため、県内各地のイベントなどへの参加やSNSを通して、一般県民から高知の豊かさやしあわせのキーワードを収集した。現在3,000近いキーワードが集まった。



こうちモノサシノート(冊子)
製作・配布

今後の課題

高知県は広く、また地域性があるため、できるだけ広い範囲での活動を心がけてゆきたい。またモノサシを考える上でデータの収集が必須なので数を増やし、質を高める工夫を行いたい。

成果と工夫した ポイント



成果

地域ワークショップの開催によって「地域の皆さんも気がつかなかった地域の宝物への視点」が得られた。それらを活かして第1次モノサシ案が作成され、「暮らしの中のこうちモノサシノート②」が完成した。

工夫

高知の豊かさや幸せという視点を提案し、参加者からキーワードを引き出しやすくした。